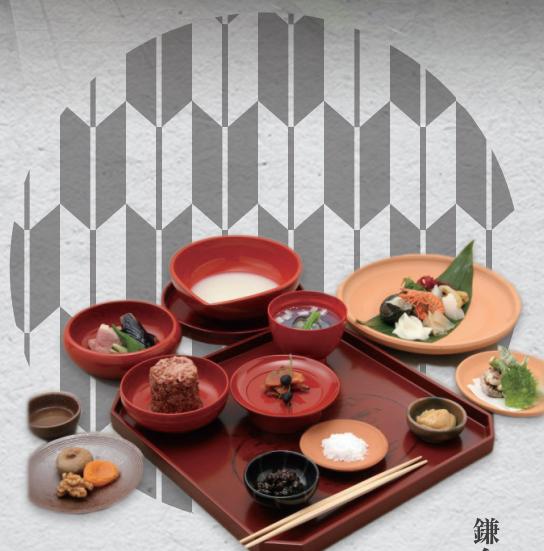


「鎌倉時代の鎌倉」を堪能する秋宴として。

八百年前の鎌倉に辿り着く
武家祝い膳とともに、

武士たちが愛した
白拍子の歌舞に
心ゆだねる。



鎌倉に捕らえられた平重衡(たいらのしげひら)が、

往生を願つて白拍子・千手前(せんじゆのまえ)と
歌い交わした曲「極楽ねがわん人はみな」、

そして鶴岡八幡宮で源頼朝を前に
白拍子・静と三人の武士の囃子方が

披露した曲「しづやしづ」をはじめとする
歌舞の数々を復元します。



桜井真樹子(白拍子)



田中傳十郎(能管、様笛)



望月左太寿郎(大鼓)



望月左太助(銅拍子)



写真：源頼朝の座像(源氏山公園)と円覚寺 塔頭 続燈庵の参道

龍笛を芝祐靖に、天台宗大原流
声明を中山玄宣に師事。一九九七年より、白拍子の復元を始め、鬚
多々良(びなんたら)「水猿曲
(みずのえんきょく)」「蓬莱山(ぼ
うらいざん)」「廻惣(かいごつ)
など二十年に渡り公演を続け
る。二〇〇七年より創作能「シ
ハッタン翁」(橋の嫗)「岸辺の大
臣」「沖縄平家物語」などを発表。
二〇一九年よりハイパー能「睡蓮
投石」「菖蒲冠」を発表する。

東京都墨田区出身。十六歳か
ら望月長次郎に師事。国立劇
場鳴物研修終了後、田中傳左
衛門社中に所属し歌舞伎座
で初舞台。二〇〇五年三代目
田中傳十郎の名を許され、平
成中村座海外公演にも参加
するなど、数々の舞台を勤め
る。二〇一二年東京二〇一〇才
リンピック開会式にて演奏。
邦楽囃子「桐筈會」主宰。

日本舞踊立花寿二代目家元
立花寿美造の長男として生
まれ、現在は邦楽囃子演奏
家として個人や様々なグル
ープを通して邦楽の魅力を広
めるために活動。舞踊家・立
花寿美造としても活動。若
獅子会として「創造する伝
統賞」などを受賞。国立劇場
主催「明日になつ新進の
踊・邦楽鑑賞会」出演。

一九九六年東京都出身。幼少
より和太鼓を始め邦楽囃子
を望月左太郎、長唄を東音味
見純に師事。東京藝術大学邦
楽科卒業。淨觀賞、安宅賞、ア
ルンサス音楽賞を受賞。国内
外の演奏・舞踊会・歌舞伎公
演で活動する一方、NHK大
河ドラマやEテレにも鳴物で
出演。

武家膳料理と白拍子ホームページ
www.sakurai-makiko.com/kamakura

